

欣席 あるいは眷族の恋

不吉な光の綾の中に

青銅のロンボスがぐるぐる廻っている

誰に調律されたのであろうか

一对の自働人形が

ラビの庭で恋を語らっている

灌水農業アグロニクスの大きいなる成果で

甘美な液体を充たした覇王樹の

妖異なる花は

日時計クロノメーターの運行に逼迫するであろうか

王家の数奇な物語を綴った野外劇は

数十億年の生涯を遂げた沙塵とともに

星空の彼方に溶け入り

若い主人公たちは

永遠の彫鏤に化している